



右) 柳瀬川(金山橋付近)
 上) せせらぎ公園の子どもたち
 左) きよせびとの大槻義顕さん

特集

水辺の散歩を楽しもう

清瀬の柳瀬川、東久留米の落合川と南沢湧水群を歩く

猛暑に参っていませんか？
 今回は涼を求めて水辺へ出かけました。暑さに負けずに外へ出ると節電にもつながりますね。近場で楽しむ節電ウォーキングを！

柳瀬川回廊は自然の宝庫

西武池袋線秋津駅から明治薬科大学を目指して20分ほど歩くと、柳瀬川支流の空堀川に出ます。梅坂橋を渡ると、河岸段丘斜面の中里緑地保全地域。クヌギやコナラの雑木林の下には3月になると、カタクリの群生が見られます。今年も3月26、27日には「カタクリまつり」が開催され、4月初めに訪れた時は、可憐なカタクリの花たちが恥じらうように咲いていました。この保全地域はA、B、Cの地区に分けられ、この先のせせらぎ公園まで住宅街を縫うように続いています。宅地化が進む中、自然のままの緑地が保全されているこ

とに驚きます。民家の窓からカタクリの群れを見物できるのですから。

ほどなく石田橋右手から「清瀬せせらぎ公園」の散策路がスタートします。ここは空堀川一部(石田橋と柳瀬川との合流地点)約510メートル間に清流を復活させ、生態保存と親水散策の場として整備されています。せせらぎの深さは、5cm〜20cm位、親水階段があるところでは、小さな子どもも水遊びができます。散策路の両側にはニシキギ、ニワトコ、ウグイスカズラなど木々に名前と説明が書いてあるのがある。山ハギのトンネルもあり、そろそろ花をつける頃でしょうか。

せせらぎ公園のきよせびと

このすぐ先が学習管理棟、トイレやベンチがあり一休みできます。宮下橋から柳瀬川との合流地点までは「生態保存ゾーン」。ここでホタルの保護、育成、雑木林の保全のボランティアをやっているのが「ボランティアきよせびと」の大槻義顕さん。
 この方、半端なボランティアではありません。6年前からホタルのえさになるカワニナを清流で育て、繁殖させ、ゲンジボタルが棲みついてくれるような環境にしたいと活動する毎日。散策路沿いの清瀬第四小学校にあるホタル小屋でゲンジボタルの人工飼育をし、四小の生徒たちがハイ



金山調節池



こんな標識が
あちこちに



釣り人に出会いました。
釣れた、丸々としたアユ!

ケボタルの世話をしています。今年も6月9日から2週間ホタルが見られました。6月11日の「ホタルの日」には飼育したゲンジボタル50匹を放ち、この日見られた数は計63匹。人工ではなく自然児?のホタルも育っているのです。清流に飛ぶホタルを見られる場所に、この夜見物に来た人、約千人だとか。四小では蚊帳の中に200匹余りのヘイケボタルを放して見せたそうです。

「今度はホタルの孵化を調べたり、未だ夜な夜なここに通ってますよ。ボランティアやるのは自分の健康のため。清瀬愛のためかな(笑)」通ってきた山ハギのトンネルも大槻さんがつくったものです。こういう方の地道な活動があるからこそ、清瀬の自然が保たれているのですね。

清流に棲む生き物たち

カワニナが住むせせらぎを木道沿いに進むと、散策路の終点。いったん小金井街道に出ると清瀬橋。ここからが柳瀬川になります。視界が開け、伸びやかな川の流れに広い空。橋の手前から中里地域市民センターまで下ると、「柳瀬川回廊」インフォメーションコーナーがあり、柳瀬川の多様な自然を知ることができます。

流れが大きくカーブする松柳橋近

くで、釣り帰りの男性に釣果を見せてもらったら、何とアユが数匹。天然アユです。この方は近所に住み、毎日のように柳瀬川にくるのだとか。

「以前は全く汚い川だったのが、清流に戻って最盛期には3時間でアユ百匹釣ったよ。冬は鳥の写真を撮って楽しむ。クイナやジョウビタキなど74種類も撮れたので、鳥のアルバム作って、地方に住む孫に送ったら、東京にこんな鳥がいるのってびっくりした。都心に近くてこんないいところないよ。遠くから来る人もいるけど、川のマナーだけは守って、と書いていてね」ここでも清瀬愛の人に出会いました。

水は澄み、川面を渡る風は心地よい。金山橋に向かう途中には数匹の鯉が悠然と泳いでいました。金山橋周辺は水遊びのメッカ、川原で直火は禁止ですが、バーベキューも楽しめます。金山緑地公園は武蔵野の自然を再現した公園で、雑木林や野草、1〜2月にはニホンスイセンの群生も見られます。ホタル養殖の小川もあり、今年のホタルの日には3千人もの人出だったそうです。

隣接する金山調節池は多摩随一のビオトープ。野鳥や湿生植物の楽園です。湧き水を利用した観賞池の中に小さな島が浮かんでいます。3月

ちょっと一服 カフェギャラリー緑



■営業時間
11時~19時 木曜休
■TEL 042(493)0002
■清瀬市野塩1-300-5

柳瀬川沿いにはお店がないので、散策の行き帰りに立ち寄ってみたいカフェ。秋津駅北口徒歩1分、1階はカフェ、2階は展覧会やコンサートができる多目的空間です。オーナーの藤澤さんが気合を入れてつくるロールキャベツが美味しい!コクのあるトマトソースとのベストマッチ。世界の民芸品や手作り小物を並べられ、何か発見できそうです。

11日に訪れた時(大震災の直前でした)は折しも、島へ続く通路の縁にカワセミが小魚をくわえて、止まっていたのです。それをメスに渡す瞬間を撮ろうと、アマチュアカメラマンの望遠レンズがズラリと並んでいたのです。が、7月の平日は人影もまばらで、カモたちがのんびりと豊かな水辺で休んでいます。

金山橋右岸から次の城前橋までは川沿いに桜並木が続きます。下宿地域市民センターの隅から入ったとこ



落合川 何とってるの？



静寂な竹林公園



右) 南沢沢頭の湧水
下) カルガモも泳ぐ川



ろには明治前期に建てられた「せせらぎの家」と江戸時代の民家を移築した「旧森田家」があります。対岸は樹木が続く「滝の城址公園」（所沢市）。下宿地域市民センターから関越自動車道のガード下を潜り（すごい轟音でした）、土手を歩いたところが柳瀬川回廊約4kmの終点。清瀬

水再生センターに隣接した「下宿ピオトープ公園」があります。が、帰りは途中の城前橋近くの台田団地バス停から清瀬駅に戻るのもいいでしょう。川沿いにはコンビニや自販機もないので、飲み物は必携です。サイクリングロードも設けられています。

落合川散策、

涼やかで、心潤す湧水

平成20年に環境省による「平成の名水百選」に東京都で唯一選定された「落合川と南沢湧水群」。東久留米駅西口から池袋方向に坂道を下ると、落合川に出ます。水量豊かでゆらゆらと水草が茂る川。兩岸に遊歩道が整備されています。老松橋から住宅街をうねうねと上って竹林公園へ。3600㎡の園内に、手入れの行き届いた孟宗竹の林が見事。静寂で清々しく、ひんやりとした空気に包まれます（入場無料）。落合川沿いの遊歩道に戻ると、「いこいの水辺」があり、ここは川の中に入って遊べる、人気スポットです。各所に「みどりのサイボード」が設置されているので散策に便利。男の子たち数人が夢中で網を使って何か捕ろうとしています。街中の川で遊ぶ子どもたちの様子に、「ウン、昔はこうだったよね」と郷愁を誘われました。

数の湧水の地です。神社の石段を登り、お参りをすませ、小流をたどり上方に歩くと、小さな森につつまれたような南沢沢頭の湧水があります。落合川の源流とされ、こんこんと湧き出す澄みきった水。住宅地のそばにこんな豊かな水と緑の空間があるとは信じがたいほど。約1万トンの湧水量は都内最大。隣接する浄水所では荒川水系の水とブレンドされ、市内の水道水として一部利用されています。

「ここは昼でも涼しくて最高。この近くで生まれたけど、昔は浄水所もなくて、全部林でうっそうとしていた。アブラハヤやタカハヤなんかバケツ一杯とれていたもんです。東久留米は水口がいいから、コココーラの工場ができたんじゃないかな」と涼みにきていた清水さん。水遊びの女の子とお母さん、外国人の若い女性たちが足を浸して楽しそうでした。

落合川の遊歩道に戻り、スイレンの池がある落合川水生公園に寄り、そのまま、生涯学習センターが見える交差点で右折。まろにえ富士見通りをまっすぐ進むと、東久留米駅に通じます。あるいはカルガモの親子を眺めながら、そのまま遊歩道を行くと、中央町郵便局がある小金井街道にでます。そこから花小金井駅方

毘沙門橋から南沢水辺公園へ。この橋の名前は近くにある多聞寺が毘沙門天を祀っているからだとか。ほどなく南沢氷川神社の鳥居が見えてきます。このあたり一帯が南沢緑地保全地域。森閑とした雑木林と都内有

そのまま、生涯学習センターが見える交差点で右折。まろにえ富士見通りをまっすぐ進むと、東久留米駅に通じます。あるいはカルガモの親子を眺めながら、そのまま遊歩道を行くと、中央町郵便局がある小金井街道にでます。そこから花小金井駅方